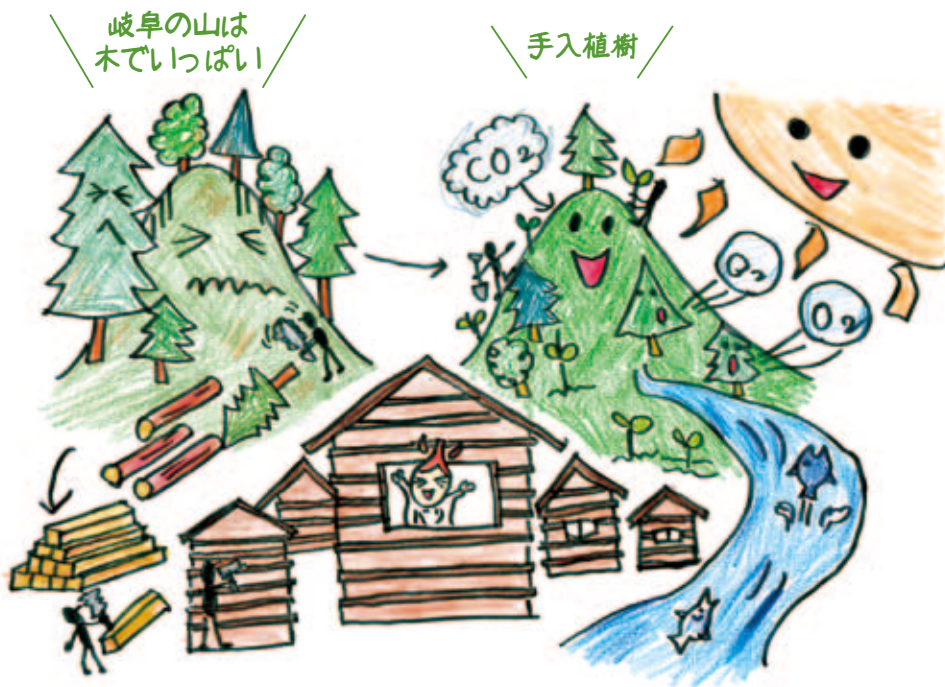


地球温暖化阻止に貢献する“火バリ”



“火バリ”は主伐材や間伐材を利用しています。  
 “火バリ”の需要が増えることは、植林や育林の手が入り森林の環境が改善します。  
 木の根が張り、森林が活性化すると、樹木は二酸化炭素を吸収、酸素を排出し、土砂災害を防ぎ河川や海の浄化にも繋がります。



外壁板張り準耐火構造 認定番号一覧表

\* 構造の各部詳細については、各認定書および施工要領書を参照してください。

認定番号	仕様の構成				
	外壁仕様	構造用面材	断熱材	構造用面材	内壁仕様
QF045BE-1424(1)	準耐火仕様 外壁用板 <b>火バリ</b>	木質系ボード、セメント板又は火山性ガラス質複層板	人造鉱物繊維断熱材充てん	なし	強化石膏ボード張
QF045BE-1424(2)				木質系ボード又はセメント板	強化石膏ボード張
QF045BE-1424(3)				なし	石膏ボード重張
QF045BE-1424(4)				木質系ボード又はセメント板	石膏ボード重張

外壁板張り準耐火構造 認定番号一覧表

仕口の形	横羽目板張り	下見板張り 下見板張り押し縁抑え	たて羽目板張り 縦羽目板張り押し縁抑え
	変形本実加工	下見板加工	本実加工

\* 仕口の形状・寸法・クリアランス・節止めなどはそれぞれ各認定書・施工要領書を参照してください。

「火バリ」開発の趣旨

岐阜県は県土の82%を森林が占めている“木の国”ですが、豊富な資源が手付かずの状態が増えています。  
 岐阜県木材協同組合連合会では、平成22年度より木造公共建築物への県産材利用促進を目的とした取り組みを精力的に行ってきました。  
 今回、防火制限区域の住宅や公共建築物・施設・店舗などの外壁に板を張る、すなわち「火バリ」を張れば、木材の大きな需要拡大になり、森林の荒廃に歯止めがかかることを期待して開発いたしました。



開発者

岐阜県木材協同組合連合会  
 〒500-8356  
 岐阜市六条江東2丁目5番6号  
 ぎふ森林文化センター内  
 E-mail info@gifu-mokuzai.jp

お問い合わせ先

(特)環境共生型すまい推進ネットワーク・  
 ヴィヴィッド岐阜  
 〒500-8358 岐阜市六条南2丁目12番20-503  
 E-mail vivid-gif@baasil.ocn.ne.jp  
 URL http://www.vivid-gifu.or.jp

準耐火仕様外壁板



国土交通大臣認定  
 外壁板張り  
 準耐火構造  
 (45分)

岐阜県産材

外壁用板

- \* 岐阜県産材
- \* 厚さ30mm無垢板、桧板又は杉板
- \* 不燃液等の含浸なし

生産・加工

- \* 岐阜県内のJAS工場にて製材・加工

板張り適用区域

- \* 防火地域 \* 準防火地域 \* 法22条区域

「火バリ」とは  
 火を見張り  
 建物を火から守る  
 外壁用板です

岐阜県

準耐火性能評価試験



試験体 3.5m×3.0m



800℃ 45分過熱後、炉より搬出板は勢いよく炎を上げているが、内壁側の石こうボードに異常はみられない。



消火後、板全体に炭化層が見られ、構造体への影響は見られなかった



木材がゆっくり燃える長所を積極的に利用した木材の外壁材です。厚いか太い木材は火災にあっても、1分あたり1mm程度しか燃えません。すなわち、厚さ30mmの木材は30分以上燃え抜けず、木材裏面の温度が100℃を超えないので、下地の構造用合板やせっこうボードと組み合わせると45分以上燃え抜けない外壁ができます。山の木がたく育ってきた、今の時代だからこそ実現できた外壁と言えます。懐かしくて、新しい木材の外壁材を使った建物を、都市で、郊外で増やして下さい。

安井昇

Noboru Yasui

1968年京都市生まれ、東京理科大学大学院(修士)、積水ハウスを経て、1999年桜設計集団一級建築士事務所設立。2004年早稲田大学にて博士(工学)取得、2007年日本建築学会奨励賞(論文)受賞。現在 桜設計集団一級建築士事務所代表、早稲田大学理工学研究所招聘研究員、東京都市大学非常勤講師、NPO法人team Timberize副理事長、NPO法人木の建築フォーラム理事。専門は、木造設計・木造耐火

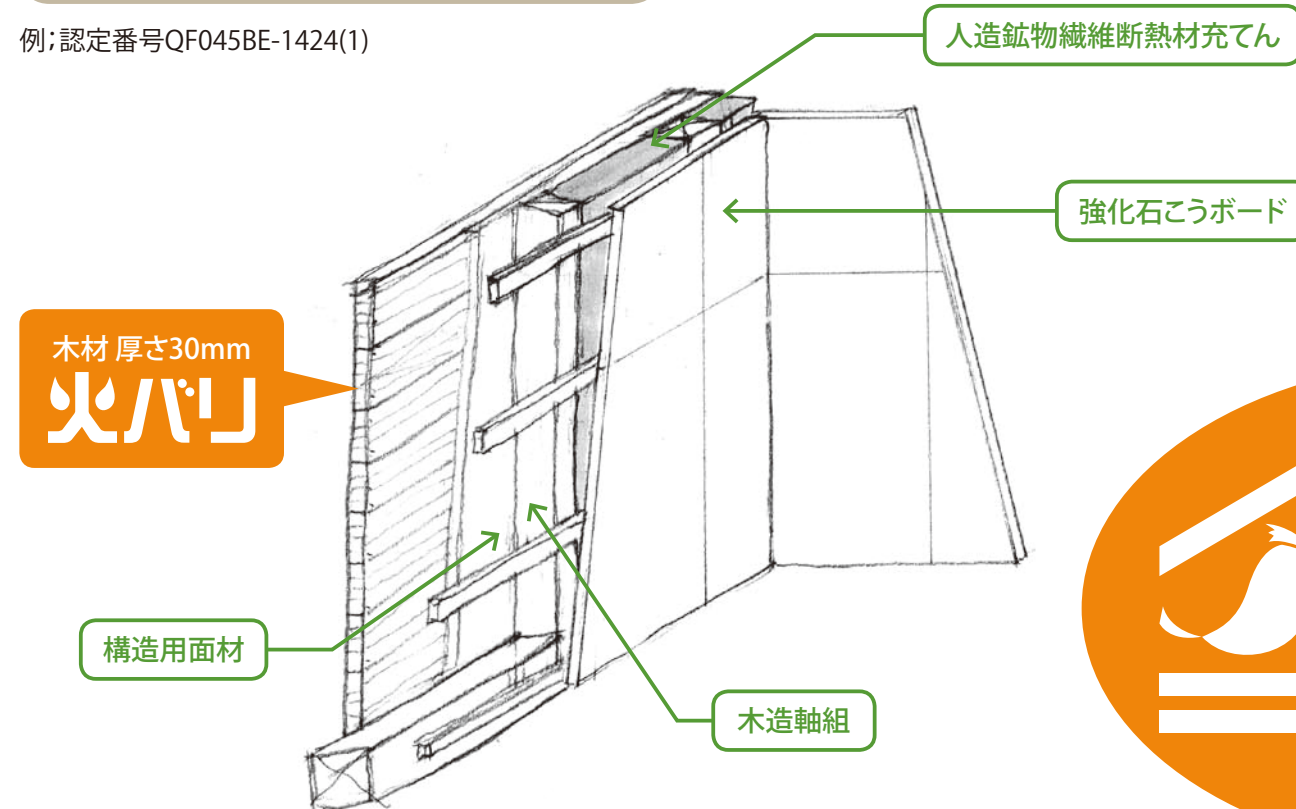


## 外壁板張り準耐火構造(45分)とは?

岐阜県木材協同組合連合会が、独自に開発した外壁板張り準耐火構造(45分)です。木が持つ耐火性能を利用して800℃の熱に45分間耐えられる木造軸組構造です。外壁の板材は、ヒノキやスギの厚板=「火バリ」です。内壁は石膏ボードです。28年5月、国土交通大臣の認定を取得しています。

## 外壁板張り準耐火構造(45分)の概略図

例;認定番号QF045BE-1424(1)



## 外壁の板に不燃液を使っていますか?

不燃液などの薬液の塗布・含浸の加工はしていません。従って、白華現象による劣化も生じません。

## 板の耐火性能は大丈夫?

厚さ30mm無垢板と燃焼時に生成する炭化層の耐火性能を利用した燃え代設計を採用。含水率15%以下、仕口は独自の防火設計、ビス寸法・間隔など細部まで、耐火性を十分考慮した設計になっています。

## どんな張り方がありますか?

横羽目板張り・下見板張り・下見板張り押縁付・縦羽目板張り・縦羽目板張り押縁付の5種類です。仕口は認定書を参照してください。

## 塗料は何を使えばよいですか?

認定では、合成樹脂製塗料も使えますが、環境に影響を与えない自然素材(柿渋・荏油・ひまわり油など)を原料とした、水性の木材保護塗料をおすすめします。

地球環境のため  
自然素材に  
こだわっています。



勘違い  
していませんか!?

大臣認定の準耐火構造の外側に板は張れません。告示の外側に板を張ることはできませんが、モルタルや鋼板仕上げに張ることになります。



最近、板張りの家、見かけなしなあ...



住宅イメージ



板張りの外観は、調和のとれた親しみのある日本の風景を見せてくれます。



店舗イメージ

まちに  
森の佇まい



古い町並み

都会でもこのような街並みができるようになります。

古い街並みの改修に。昔の姿がよみがえります。



下見板張り



診療所イメージ



これからは、街中でもこのように板張りの建物が建てられるよ!

## 準耐火構造の建築可能な地域と規模

	延面積	階数	参考図
防火地域 建築基準法第61条	100㎡以下 かつ	2階建て 以下	
準防火地域 建築基準法第62条	500㎡以下 かつ	3階建て	
	500㎡~1500㎡以下 かつ	3階建て 以下	
建築基準法 第22条区域	延焼の恐れのある部分		